

一般質問

6月定例会では、25人の議員が質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧いただけます。

会派正式名称

自由民主党…鳥取県議会自由民主党
 …鳥取県議会会派「絆」
 公明党…会派「かけはし」
 公明党…公明党鳥取県議会議員団
 共産党…日本共産党鳥取県議会議員団
 かしん…会派「かしん」
 とっとり…県議会とっとり

防災・減災対策

銀杏 泰利 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

問 社会資本の補修整備に集中的に投資し、同時に経済と雇用を回復するという考えに對しての感想を問う。また本県においてはどうか。

答 東日本大震災など災害が多発する中で、公明党は新たなビジョンを設けられ、防災・減災ニューディールという政策を立てられた。私も拝見したが、その骨格の基本的な考え方には大賛成。社会資本整備の集中投資を、我々としてもできる限り進めていきたい。

林業の活性化 RCの活動

横山 隆義 議員



選挙区 東伯郡 会派 自由民主党

問 間伐の充実、森林の環境保全税と景観整備の継続を問う。森林の境界の明確化について10年後はさらに悲惨な状況が予想されるが、県の対策を問う。ロータリー

クラブ(RC)の活動について所見を問う。

答 森林の環境保全税は継続、間伐材の促進に努力する。森林の境界明確化は県も後押しする。森林の機能保全、エネルギーミックスを図り、26年には一般家庭の75%を賄いたい。RCとは、地域のパートナーとして協働したい。課題に對して地域全体で取り組む。

フードリサイクルへの提言

福田 俊史 議員



選挙区 八頭郡 会派 自由民主党

問 家庭や学校給食から出る生ごみを堆肥化し、それを使って栽培した作物を学校給食で活用する取組が全国で始まっている。県内では八頭町などで生ごみを資源化する運動も始まっており、県と市町村が連携した学校給食フードリサイクルのモデル事業を創設してはどうか。

答 学校給食リサイクルは有力なテーマとなり得ると思うので、今後八頭町などの関係者と相談しながら、一つのモデルになるように

通学路の安全確保・不妊症

濱辺 義孝 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

問 登校中の児童生徒らの列に車が出っ込み、死傷者が出る痛ましい事故が発生した。通学路での交通事故防止に力を入れて頂きたい。不妊症で悩んでいる方々の為に、病気の周知徹底と経済的支援に取り組んで頂きたい。

答 学校通学路の安全については、ハード・ソフト面等側面からサポートさせて頂きたいと思う。不妊症については、今後県民の皆様を知を行っている、経済的支援のあり方については検討させて頂きたいと思う。

財政健全化と原油高騰対策

坂野 経二 議員



選挙区 鳥取市 会派 絆

問 ①危機的財政状況への関心を

高め、子ども達の未来へ繋ぐため、借金時計を県ホームページに導入してはどうか。②独自調査の結果、ガソリン1ℓ当たり10円近くもの価格差が東部と西部の間に存在する。県民に必須であるガソリン価格を如何に分析しているのか。

答 ①財政状況を財政通信簿みたいな形で公表するなど検討したい。②価格調査は検討するが、価格形成過程の調査権限はない。問題があれば公正取引委員会に相談するのが権限の範囲。

広域連合のあり方

山口 亨 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 ①関西広域連合が求める地方整備局、経済産業局等の移管が骨抜きになっているのは問題だ②国会議員で構成する立法府が消極的でないか③産業分野に加入した意義④中国広域連合のあり方は。

答 ①連合議会の意見を十分反映させる②地域主権改革へ国会議員の理解を得ていく③農林漁業振興

倉吉東高校に補習科設置を

岡治 英夫 議員



選挙区 倉吉市 会派 絆

問 倉吉東高校での、専攻科廃止後のPTA等による補習科設置への理解と一部現職教員の協力、学校施設使用の許可を求め。

答 補習科の設置は、専攻科後を、民の力で解決する趣旨と受け止めた。議会の判断を得れば、知事部局で協力体制は作っていく。専攻科と違って補習科には教員の定数配置はない。現職教員の協力には兼職兼業の許可、職務専念義務免除が必要。制度的には可能だが、議会決議との整合性、規模や実施形態等を把握して、議論する。



ジオパークの課題

広谷直樹 議員



選挙区 岩美郡 会派 かいしん

問 ジオパーク関係の事業や情報提供は、各自自治体内で完結する傾向であり、観光客には全体像が捉え難いのではと考える。また、学校教育での活用をどう考えるか。

答 三府県知事で県境を越えた山陰海岸ジオパークの振興策を話し合っているが、今は意識合わせをしている過渡期であり、温度差を解消するよう努力していきたい。教育での活用は、まず教職員が理解を深め、授業に活用できるようにジオパークの奥の深さや美しさを再認識するような研修をしたい。

幸福度4位の意味は何か

上村忠史 議員



選挙区 西伯郡 会派 自由民主党

問 法政大の研究結果では我県の幸福度は全国4位だが、ニートやひきこもり、不登校の若者は八千人。生活保護者も多い。所見を問う。幼児の教育では家庭や家族が大切。野外で遊ぶ事も重要と思うがいかがか。

答 若者にはアーチェリーの川中香緒里選手の五輪出場を機に元気を出して欲しい。生活保護では都市部、15〜64歳の稼働世代の増加を憂いている。幼児教育では伝統

や文化、自尊心を育てることが大切。大山や船上山の青年の家での野外活動も成果を挙げている。

社会生活に即した教育を

森 雅幹 議員



選挙区 米子市 会派 絆

問 シチズンシップ(公民的資質)教育の検討状況について問う。

答 授業の中では学ぶが、それが教科書上の知識となつて、社会に出た場合に、実際の知識としてつながつていない。シチズンシップ教育は、主権者を育てていくというとても大切な取り組みだ。今後子どもたちが社会に出て遭遇するであろうさまざまな課題について、生きた題材や(社会の)現場で活動しておられる方の生の姿や声に直接触れて、生徒が考える機会をより多く設けていきたい。

国道431号の高速道路化

内田隆嗣 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

問 鳥根県は境港出雲線の高規格道路整備方針をマスタープラン上でも示している。高規格道路として国道431号線を米子境港から松江出雲まで整備するよう鳥取、鳥根の両県、関係自治体が連携して国に要望してはどうか。

答 鳥根県側とも相談し、米子、境港、出雲、境港という道路のみならず、道路のネットワークをどうやって今後整備をしていくのか意見交換してみたい。

牛肉の評価がオレイン酸に

伊藤 保 議員



選挙区 東伯郡 会派 絆

問 昨年、鳥取一押し銘柄牛肉として発表された鳥取和牛オレイン55の販売の取組みを問う。

答 首都圏を中心に情報発信しており、高級志向のレストランから引き合いが来ている。オレイン酸に取り組んでいる長野、大分県と連携しながら共同イベントでブランド化を図っていく。

問 今年の和牛長崎全共でオレイン酸の含量が注目されるのでは。

答 和牛長崎全共では、脂肪のサシだけでなく、脂肪の質が評価されると聞いており、期待している。

鳥取環境大学の整備支援

谷村 悠介 議員



選挙区 鳥取市 会派 とっとり

問 若葉台地区からの要望もあり、環境大生の利便性の向上につながる環境大前駅を鳥大前駅のように県が支援して早期設置すべきではないか。因美線、若桜線沿線

の田舎暮らしがしたい学生に支援してはどうか。空手等でも強化スポーツ指定を拡大してはどうか。

答 環境大前駅は鳥取市の考えに沿いながら、県として必要なら自分の協力をしていく。住居はUターンへの応援も活用しながら連絡を取り協力したい。スポーツについては状況を見て応援したい。

問 境港は今、大きな躍進のときにあるが、港から高速道まで23kmと遠く、全国の主要港湾ではワースト4、日本海側拠点港ではワースト1である。港湾として致命的欠陥ではないか。地元では津波や原発事故への対応策としても高速道新設を求める声大である。知事は将来を展望し、米子・境港間の高速化を山陰道の次の整備対象として明確に位置づけるべきだ。

米子・境港間の高速化

安田 優子 議員



選挙区 境港市 会派 自由民主党

問 実現に向けて国への要望と並行して、関係者で具体的ビジョンを描くための勉強会を立ち上げる。

答 人材養成に今後も一層手を尽くしたい。介護サービス全体のレベルアップも必要だ。第三者評価の積極的な導入による質の担保のため、国へ制度改正の要望を上げたい。また、看護師数の引き上げへのアプローチを強めていきたい。

介護サービスの質の向上を

国岡 智志 議員



選挙区 八頭郡 会派 かけはし

問 基礎研修課程以上の介護職員の養成を急ぐべきだ。介護分野への企業参入を推進しているが、命を守り、支える介護サービスの質の向上と事業所の評価制度導入が必要で、介護現場の看護師確保も急務。所見を問う。

答 人材養成に今後も一層手を尽くしたい。介護サービス全体のレベルアップも必要だ。第三者評価の積極的な導入による質の担保のため、国へ制度改正の要望を上げたい。また、看護師数の引き上げへのアプローチを強めていきたい。

漁船検認と漁船登録問題

森岡 俊夫 議員



選挙区 境港市 会派 かけはし

問 漁船検認業務を民間委託して



子育て中の がん患者支援

澤 紀男 議員



選挙区 米子市 会派 公明党

問 最近のがん対策でがん患者の精神的ケアは行われるようになったが、親ががんになった子どもの心理的ストレスが发育環境に大きく影響するようだが、医療機関で患者とその子どもも視野に入れた支援のケースは少ないようだ。鳥取県でも先進的に取り組むことも必要ではないか。

答 チャイルド・ライフ・スペシャリストという動きが広まっている。どのような対策が可能なのが事案家族の意見を聞き、当初予算に考えたい。

原発再稼働を 問う

錦織 陽子 議員



選挙区 米子市 会派 共産党

問 原発再稼働に道を開いた関西広域連合の再稼働容認声明に賛同した知事には道義的責任があると思うが知事の所見を尋ねる。

答 関西プロパーの問題であり、一歩引いて議論に参加した。

問 他人事である。もし過酷事故が起きたら日本の魚もとれなくなってしまう。現状で安全でないと思えば声明を撤回すべきだ。原発からの撤退も政府に迫るべきだ。

答 容認とは言っていない。声明

が政治的事情の中で利用された感はあるかもしれない。

消費税と生活 保護について

市谷 知子 議員



選挙区 鳥取市 会派 共産党

問 ①国民半数超が反対の消費税増税と社会保障一体改革法案の強行採決にノーを。②生活保護要件でない扶養の調査強化を求める国要望撤回を。一時扶助制度周知、緊急医療券の全世帯配布、夏季見舞金増額、ケースワーカー増員を。

答 ①大きな立場での決定を評価。将来に役立つパッケージの議論を望む。②扶養は保護の要件ではない。国要望は見直す。一時扶助制度周知と緊急医療券全世帯配布を福祉事務所に伝える。夏季加算、人員配置改善を国に求める。

看護教員と 菜の花PT

浜田 妙子 議員



選挙区 米子市 会派 絆

問 ①看護師不足解消には指導者の質の向上が肝心であり、キャリアアップ支援に力を注ぐべきだ。②菜の花栽培で循環型地域づくりを探り、環境立県の実現を。

答 ①看護師の質の向上のため、後方支援のみならず、研修のための代替職員人件費や派遣しやすい

体制づくり等、様々な形で応援体制を組んでいきたい。②県と市町村相乗りによる新しい行政スタイルをモデル的に作り、さらに一層菜の花プロジェクトの活動が展開するよう、やり方を考えていく。

電子自治体と 日本海国土軸

野田 修 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 行政の業務改革やペーパーレス化、転届届などの手続きが家庭でき、県民の利便性も向上する電子自治体の市町村への普及、自治体クラウド、マイナンバー制の導入推進への所見を問う。東日本大震災に学べば、日本海側を一本の道路で繋ぐべきで、均衡ある国土の発展には新幹線等の高速鉄道の整備が不可欠ではないか。

答 鳥取県がIT社会の先進事例になるよう頑張りたい。日本海国土軸はよく検討し、山陰新幹線などの議論も仕掛けていきたい。

地下水保全の 条例の目的

福岡 裕隆 議員



選挙区 西伯郡 会派 絆

問 条例制定の目的は、水道事業者の拘束ではなく、経済活動で地下水を使う民間事業者の規制ではないのか。また、地下水を持続可

能なものにするという環境保全に軸足を置き、産業活動はプラスアルファ的な位置づけにすべきだ。

答 基本的な思いは、環境に第一の価値を置き、水資源の保全を考えるべきではないかということ。製紙業者や水販売業者など様々な形態があるが、水資源の保全を念頭に置いた場合、取水量の多い水道事業者は避けて通れない。

医療・福祉の 人材不足問題

廣江 弋 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

問 医療・福祉・介護の連携と医師薬剤師、看護師、介護士、リハビリ等構成スタッフの人材不足について、一昨年、昨年、前回に引き続き全国及び近県の状況、県内の現場の状況把握が不十分で前進していない現状を重ねて問う。

答 看護師不足は解消されていない。胸襟を開いた議論をしていき行動も起こしていきたい。

問 何回もしつこく質問してきた思いを認識して欲しい。

答 安心な医療体制、介護体制が生まれるよう最大限努力したい。

地酒は県の宝 振興策充実を

砂場 隆浩 議員



選挙区 鳥取市 会派 かけはし

問 「食のみやこ」には地酒の記載がないが、地域の伝統文化として支援を。手仕事担い手育成制度で経営者の三親等が除外されているが伝統産業の担い手は家族。問題だ。県版AOCも研究に値すると思う。まんが博を活用するなど、まず県が垂範して消費拡大を。

答 あらゆる機会を通じてPRしてきたい。同制度への指摘はもっとも。当初予算までには見直す。県版AOCも関係者と意見交換したい。イベントの活用は大賛成。頑張る情報発信していく。

社会福祉法人 への指導監査

稲田 寿久 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

問 措置福祉から契約福祉への転換点にあつて、指導監査過程において、強制力の無い現在の法制のもと、法人を規制する法の不備を国に強く訴え、一方、地方は部局のリサーチ能力の強化とデータの蓄積による事件の対応策を強化すべきであると思うがどうか。

答 今回の事件を契機に、監査体制の強化はむろんのこと、専門的知見を加味した厳正なチェック機能で適正化を図りたい。従来とは体制を一新して、問題解決への醸成能力を是非とも確立したい。